

# 報 告 書

令和2年 11月 12日

活動実施団体名  
北海道大学総合博物館  
責任者名  
教授 大原 昌宏  
報告書作成者名  
研究支援推進員 植松 淳子

## 1. 活動の名称（タイトル・テーマなど）

北海道大学総合博物館主催

公益財団法人藤原ナチュラルヒストリー振興財団 財団40周年記念事業

パラタクソノミスト養成講座・きのこ（初級）

講師：小林 孝人

## 2. 実施日

2020年10月10日（土）

## 3. 実施場所

北海道大学総合博物館

## 4. プログラム等

10：00～10：30

- ・パワポ資料を使って講師による座学（きのこは何か）

10：30～11：30

- ・博物館周辺できのこ採集

11：30～12：00

- ・教室で鑑定会

13：00～

- ・図鑑や顕微鏡、カラーチャートを使って同定して細部まで観察する

\*肉眼観察による形態特徴の観察\*

きのこを2分割してヒダや柄、ツバ、ツボの特徴を自分の眼で観察

\*顕微鏡による形態特徴の観察\*

顕微鏡で主にヒダ、そして傘、柄、肉の特徴を調べ、記載シートに記入。

## 5. 対象・参加人数（内訳）

中学生以上 参加人数：10名

## 6. 活動の内容・状況・感想（参加者並びに主催者）

毎回人気の講座で、抽選により参加者決定としています。

きのこ好きという方だけでなく、きのこが大好きなお子さんの影響を受けたという方、自分の専門外の知識を学びたいという学生が参加してくださいました。

受講者は草が茂った場所に入っていかれたり、落ち葉や枯れ枝をひっくり返したりしながら、そして場所によっては想定外の所に生えているのに気がついたり、昨年よりも多くの種類のきのこが生えていたような感じでした。前日に雨が降り朝も冷え込んだことも発生の要因だったようです。

生物顕微鏡で組織を観察するために、自分が採集したきのこの断面の香りを確かめたり、カラーチャートと照らし合わせて傘の色を確かめたり、先生が作ってくださったきのこのスライスのパレパレートで傘やヒダ、柄、肉の特徴を図鑑と照らし併せ観察して同定してゆきます。

今年は全員が沢山のきのこを採集する事ができ、互いが採集したきのこをみせあったり、自分がきのこを見た場所を話したりとキノコ談義に花が咲いていました。中級も開催してほしいとのお声もいただきました。

## 7. 写真（6. 活動内容・状況・感想の中に差し込まれて結構です。）

